

MIE PREFECTURAL COLLEGE OF NURSING

MCN REPORT

三重県立看護大学は

開学**20周年**を迎えました！

Vol. 31
2017.5



開学20周年記念事業(5月9日)



入学式(4月4日)

主 な 内 容

- 菱沼 典子新学長・新任理事就任ごあいさつ 1・2
- 教職員紹介 3
- 大学の出来事・国家試験結果・就職状況 4
- 20周年事業について 5・6
- 次の20年に向けて 裏表紙



卒業式・修了式(3月19日)



三重県立看護大学
MIE PREFECTURAL COLLEGE OF NURSING



大学マスコット
キャラクター
「みかんちゃん」

新学長 就任ごあいさつ

ひしめま みちこ
菱沼 典子



本年4月1日付けで、本学の理事長・学長に就任いたしました。設立時から地域交流センターを開設、4年後には大学院を設置し、一貫して三重県の保健医療・看護の分野の質の向上に力を注いできた本学に加えていただき、この地で働くことを大変楽しみにしております。

大学の財産は卒業生・修了生、研修生と研究の成果です。看護学の新たな知を創り、その知を現場で使う力を発揮できるかどうかは、本学に集う人々にかかっています。広く世界に目を向け、その上で足元の三重県民の健康に対して何ができるかを考える、本学の使命を全うしていきたいと思います。

看護学の学習・研究には、看護の現場との連携が必須です。明日の仲間の教育と、看護の質の向上に結びつく研究に、共に取り組んでいきますよう、より一層のご理解とご支援をお願い致します。学内においては、学生、教員、職員がそれぞれ実力を発揮し、生き生きと役目をはたせる環境を整えていきたいと考えています。

本学は今年、お陰様で開学20周年の節目の年を迎えました。これからの20年に向けて、どうぞよろしくお願い致します。

プロフィール

菱沼 典子

1974年 聖路加看護大学卒業後、天理よろづ相談所病院に看護師として勤務。

1976年～2017年3月 聖路加国際大学に勤務。

専門は看護形態機能学、看護技術学、基礎看護学。

1981年 筑波大学大学院医科学研究科修士課程修了

2009年 日本赤十字看護大学より博士（看護学）。中央教育審議会委員等を歴任。

新学長の
ご紹介



新任理事 就任ごあいさつ

おおひら もとこ

大平 肇子〔教学担当理事〕（学生部長）



平成29年4月より教学研究担当理事・学生部長に就任しました大平肇子と申します。私は平成9年の開学から約10年間本学で勤め、その後他校で勤務し、平成27年に本学に戻ってまいりました。開学20周年の節目の年に大役を仰せつかり、身の引き締まる思いです。

この20年間本学は、地域の皆さま、臨地実習等でお世話になっている関係機関の皆さまなど多くの方々のご支援を賜り、看護系大学としての基礎を固めてまいりました。次の20年へ向けて、今後は伝統と基盤の上に看護学の探求を続け、更なる飛躍を目指します。本学の夢多き未来のために理事長兼学長のもと微力ながら全力を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願い致します。

こ いけ あつし

小池 敦〔企画情報担当理事〕（メディアコミュニケーションセンター長）



今年4月から企画情報担当理事・メディアコミュニケーションセンター長を拝命いたしました。不慣れなことばかりでご迷惑をおかけすること多いかと思いますが、よろしくお願い致します。担当する企画情報関係にはメディアコミュニケーションセンターが管轄する附属図書館、情報センターの運営があり、学生及び教職員の教育・研究活動などを支援する重要な役割を担っています。加えて、今後さらに重要度を増すことが予想される事業として、先進的に本学が取り組んでいる高大接続事業の推進があります。この事業を通して高等学校から就職先となる医療機関を結ぶ本学独自の教育システムを構築することによって、本学を他の看護系大学と差別化できるようになると期待しています。新学長のもと、県民の皆様からご支持を頂ける看護大学であり続けられるよう微力ながら尽力いたしたいと思いをします。

みやざき

こ

宮崎 つた子〔地域貢献担当理事〕（地域交流センター長）



本年4月1日付けで、本学の地域貢献担当理事・地域交流センター長に就任いたしました。公立大学である本学にとって地域貢献は重要な使命のひとつであることから、大学設立にあわせて地域交流センター（当時は地域交流研究センター）も設置され、全ての教員がメンバーとして活動しています。大学と同様、地域交流センターも誕生してからことして20年を迎えます。

この間、県民の皆さまの健康や福祉の向上のお手伝いができるよう教員を地域に派遣する出前講座や本学を会場とする公開講座などを実施してきました。また、医療施設の看護研究支援などにも取り組んでまいりました。これからも、皆さまのニーズに応えられるよう、常に地域交流センターも変化、成長していきたいと考えています。皆さまから愛される地域交流センターをめざして、微力ながらも尽くしてまいります。これからも、どうぞよろしくお願い致します。

教職員紹介

新任・昇任・退職・転出の教職員

川島 珠実 (基礎看護学 講師)

4月より基礎看護学を担当させていただきます。臨床経験は長いいため、本学の卒業生さんとも一緒に働いていました。学生の皆さんと共に学び成長していきたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

清水 真由美 (国際看護学 准教授)

ブラジル、インドネシア、セネガルなどで国際医療協力に携わってきました。国際協力や援助、多文化共生について、学生と一緒に考えていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

前川 早苗 (精神看護学 講師)

大学院の一期生で、精神科の病院では急性期や若者のメンタルヘルスのサポートをしてきました。精神看護専門看護師の経験を活かして精神看護のやりがい伝えていきたいと思ひますのでよろしくお願いいたします。

山野 恵律子 (基礎看護学 助手)

人事交流にて鈴鹿中央総合病院より、実践基盤看護の助手として着任しました山野恵律子です。私は、第5期の卒業生です。教育の現場で様々なことを学び、学生の皆さんと学びを深めるとともに、喜びや苦みを共有していきたいと考えています。1年間よろしくお願いいたします。

大津 光之介 (基礎看護学 助手)

済生会松阪総合病院から1年間人事交流で勤務させていただきました。学生とともに学びつつ、看護師として培った経験を活かしてサポートができるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

柴原 加奈 (基礎看護学 助手)

人事交流事業にて伊勢赤十字病院より参りました。学生、教員の皆様とのかかわりのなかで、臨床とはまた違う学びや気づきが得られることを楽しみにしております。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

市川 陽子 (母性看護学 助手)

今年の4月から三重県立看護大学で助手として勤務させて頂くことになり、とてもワクワクしています。皆様の力になれるよう努力して参りますので、よろしくお願いいたします。

橋本 千愛 (精神看護学 助手)

精神看護学の助手として勤務させていただくことになりました。臨床での経験を活かしながら、自分自身の学びを深めつつ、学生へ精神看護の魅力が伝わるよう努めていきたいと考えています。よろしくお願いいたします。

新任教員



新任事務局職員



山本 秀典 (企画監)

4月から事務局でお世話になっています。先生方と学生の皆さんの満足度を高め、県民から愛される大学となるよう頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

伊藤 誠 (企画総務課 主幹)

私の誕生日が本学の開学記念日と同じということで、親近感を頂きつつ赴任いたしました。本学と共に成長していけるよう尽力して参りたいと存じます。

萬野 智 (企画総務課 主幹)

開学20年目のスタッフとして本学の発展に貢献できるよう頑張ります。卒業生の皆さま、後輩の応援のため修学支援の基金に多くの寄附をお願いします。(裏表紙参照)

坂 昌二 (教務学生課 主幹)

「いつもは優しく、ときには厳しく」をモットーに、学生の皆さんの大学生活が充実したものとなるよう、サポートしていきたいと思ひます。

安達 真穂 (企画総務課 主事)

4月から事務局の企画総務課に赴任してきました。少しでも皆さんのお役に立てるよう頑張りたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。

昇任

基礎看護学
教授
白石 葉子

退職 転出

平成29年3月退職の教員

教授 岡本 恵里	助手 濱崎 友美
准教授 早川 正祐	助手 松川 真葵
助教 田中 晴佳	助手 黒田 穂奈美
助教 松田 陽子	助手 安藤 千智
助手 水谷 あや	

平成29年3月退職・転出の職員

課長 奥野 進	業務職員 田中 洋子
企画監 山室 稔	業務職員 西村 曜子
主幹 山口 嘉章	
主幹 林 良充	
主任 稲田 佳恵	

大学の出来事・国家試験結果・就職状況

大学の出来事

平成29年度 看護学部・大学院入学式

平成29年4月4日(火)に、平成29年度の本学看護学部新入生100名、大学院看護学研究科新入生6名の入学式を開催しました。新入生を代表して、上本麻衣さんが入学の決意を宣誓しました。教職員一同、全ての新入生が充実した大学生活を送ることができるよう、サポートしていきます。



平成28年度 看護学部卒業式・大学院修了式

平成29年3月19日(日)に、平成28年度の看護学部卒業生106名、大学院看護学研究科修了生4名の卒業式・修了式を開催しました。卒業生・修了生を代表して、長副恵里加さんが看護学部最優秀生として謝辞を述べました。本学の卒業生・修了生であることを誇りに、新たな一歩を踏み出されることを願っています。



データでみるみかんだい

平成28年度 国家試験結果

平成28年度国家試験は、看護師は2月19日(日)、保健師は2月17日(金)、助産師は2月16日(木)に行われました。

本学では全員の合格を目指して様々な学習のサポートを行っています。

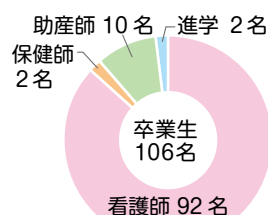
今年度は、3年時の低学年模試、4年時の看護師模擬試験4回、保健師模擬試験2回、助産師模擬試験2回、外部業者の補講を9月と10月に計画しています。さらに後期には本学教員による国家試験対策中心の授業を開講予定です。

学生が国家試験対策委員も活躍しています。学生・教員が一丸となって全員合格を目指します。今後とも皆さまの応援をよろしくお願いいたします。

国家試験結果

	看護師	保健師	助産師
受験者数	106名	106名	13名
合格者数	105名	104名	13名
合格率(平成28年度)	99.1%	98.1%	100.0%
全国合格率(新卒者)	94.3%	94.5%	93.2%

平成28年度卒業生 就職状況



県内就職先

- 地方独立行政法人 三重県立総合医療センター
- 日本赤十字社 伊勢赤十字病院
- 三重大学医学部附属病院
- 社会福祉法人恩賜財団 済生会松阪総合病院
- 独立行政法人国立病院機構 三重病院
- 三重県立志摩病院
- 社会医療法人峰和会 鈴鹿回生病院
- 三重県庁
- 地方独立行政法人 桑名市総合医療センター
- 亀山市立医療センター
- 伊賀市立上野総合市民病院
- 松阪市民病院

主な県外就職先

- JA愛知厚生連 豊田厚生病院
- 社会医療法人宏潤会 大同病院
- 名古屋大学医学部附属病院
- 日本赤十字社 名古屋第一赤十字病院
- 名古屋市立大学病院

県内就職	県外就職	県内就職率
44名	60名	42.3%

20周年事業について

開学 20周年記念事業を 実施しました

三重県立看護大学は、地域に根ざした質の高い人間性豊かな看護職者を育成するため、県内初の看護系大学として、また県内初の公立4年制大学として平成9年に開学し、今年5月に20周年を迎えました。

これを記念して、5月9日に開学20周年記念式典及び20周年記念講演・座談会を開催したところ、学内外から約500名の方にご参加いただきました。

記念式典では、菱沼学長からの挨拶の後、鈴木英敬三重県知事、中村進一三重県議会議長からお祝いの言葉をいただきました。また、本学の第3代学長として、法人化後の初代理事長として長きにわたり本学の発展に貢献された村本淳子氏に感謝状を贈呈しました。

記念講演では、4月に着任した菱沼典子学長が「看護の力」をテーマとして講演しました。近代看護学の基礎を築いたナイチンゲールの活動を紹介したうえで、看護は学として発展が遅れたことにもふれました。看護は、内なる力を揺り動かす刺激を提供し、その力が発揮されるのを待つ仕事であり、病者や家族が「私はこれでいい」「これでやっていける」と思えることが看護への最大の褒め言葉である。そのように述べて、これからの20年に向けてのメッセージとしました。



感謝状の贈呈



菱沼学長講演「看護の力」



座談会「三重県立看護大学のこれから」

引き続き開催された座談会では、「三重県立看護大学のこれから」をテーマに、本学理事で元あすなろ学園園長の清水將之氏をコーディネーターとして、本学の初代学長の前原澄子氏、第3代学長の村本淳子氏、菱沼学長との間で座談会を開催しました。質の高い看護教育で日本一の看護大学を目指したこと、「寄り添う看護」の重要性、法人化により大学経営が「見える化」されたこと、男性看護師へのエールなど、話題は多岐にわたり、今後は、社会と連携して高度な看護教育を実践していくなど、本学の未来像が示されました。

20年を振り返って

～これまでのあゆみ～



20年のあゆみをご紹介します。

平成 9 (1997) 年	4月	開学（開学式：5月8日） 地域交流研究センター設置
平成 13 (2001) 年	4月	大学院看護学研究科開設
	9月	タイ王国 マヒドン大学と学術交流協定を締結
	11月	行幸啓 天皇皇后両陛下が本学を視察
平成 16 (2004) 年	3月	三重県立看護大学同窓会設立
平成 18 (2006) 年	3月	大学院専門看護師教育課程（精神看護学）認定
平成 21 (2009) 年	4月	地方独立行政法人化（公立大学法人 三重県立看護大学設立）
		メディアコミュニケーションセンター設置
		地域交流センター設置（地域交流研究センターから名称変更）
平成 23 (2011) 年	7月	認定看護師教育課程「感染管理」開講
平成 24 (2012) 年	5月	看護博物館の開館、「三重の看護史～昭和から平成への軌跡～」の発行
平成 25 (2013) 年	2月	三重県立こころの医療センターと連携協力協定を締結 （以後、次の医療機関と連携協力協定を締結）
		・松阪市民病院（平成 26 年 3 月）
		・社会福祉法人恩賜財団 済生会松阪総合病院（平成 26 年 3 月）
		・三重県厚生農業協同組合連合会 松阪中央総合病院（平成 26 年 5 月）
		・地方独立行政法人 三重県立総合医療センター（平成 26 年 7 月）
		・日本赤十字社 伊勢赤十字病院（平成 26 年 8 月）
		・独立行政法人国立病院機構 三重病院（平成 27 年 1 月）
		・三重県立一志病院（平成 27 年 11 月）
		・三重県厚生農業協同組合連合会 鈴鹿中央総合病院（平成 29 年 4 月）
平成 26 (2014) 年	8月	文部科学省「大学教育再生加速プログラム」採択
平成 27 (2015) 年	11月	英国スコットランド グラスゴー大学と交換学生による交流協定を締結
平成 29 (2017) 年	6月	認定看護師教育課程「認知症看護」開講



連携協定締結(平成29年4月)

次の20年に向けて

～基金の設置と寄附のお願い～

今日、少子化による18歳人口の減少、学生の思考の多様化、厳しさを増す国・地方の財政状況など、大学を取り巻く環境は大きく変化しています。

このような中におきましても、本学は、三重県健康レベルの向上に寄与することが求められており、グローバル社会の中で看護学の発展と保健・医療・福祉の向上に寄与できる質の高い人材の育成が使命となっています。この使命を継続して果たすために、開学20周年を契機に広く寄附金を募り、学生の修学支援に活用したいと考えています。

つきましては、本学の発展と人材育成のさらなる充実を図るため何卒格別の御協力と御支援をいただきますようお願い申し上げます。

寄附金の募集方法等の詳細については、追ってお知らせいたします。

お問い合わせ先 事務局企画総務課 TEL 059-233-5600



本学マスコットキャラクター「みかんちゃん」

三重県立看護大学の略「三看大（みかんだい）」の「みかん」に学生たちが持つ「優しさ」をイメージした大学キャラクターです。平成21年の法人化を機に学内からの公募で選ばれ活躍しています。



学章の由来

看護のイメージを高めてほしいという願いと、未来に向かって成長していく若者の姿を大小2つの翼とナースの「N」をモチーフにして表現しました。



「大学基準協会」の定める「大学基準」に「適合」と認定されています。

認定マークとは…法で定められた認証評価機関である大学基準協会の大学評価を受けて認定された大学に交付されたものであり、その大学が常に自己点検・評価に取り組んでいること、そして社会に対して大学の質を保証していることを示すシンボルです。



公立大学法人

三重県立看護大学

〒514-0116

三重県津市夢が丘1丁目1番地1

TEL 059-233-5600(代)

FAX 059-233-5666

<http://www.mcn.ac.jp/>



広告



～皆様に愛され、より多くの方にご満足いただけるよう取り組んで参ります～

創業

32

年

志摩・鳥羽・伊勢の
医療・介護・福祉なら豊和グループ

事業所数 **21** 総職員数約 **600** 名



豊和病院が
「女性が働きやすい医療機関」に
三重県から認証されました！

お気軽にお問い合わせください



0599-43-9711

howagroup

検索